

競技注意事項(案)

1. 規則について

- ・本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項にて行う。

2. 練習場について

- ・尼崎市記念公園内にて練習を行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分配慮すること。
- ・投擲練習は禁止する。練習は二次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。
- ・体育館への立ち入りは、原則禁止とする。

3. 招集方法

- ・一次招集はベイコム陸上競技場北ゲート競技者係にて選手自身がコール用紙の自分のレーンナンバーに○をつけて行う。その際ナンバーカードのついたユニフォーム(上下)、スパイクを競技者本人が持参すること。腰ナンバーカードは一次招集前に事前につけておくこと。
- ・腰ナンバーカードの確認後、5000m・10000mに関しては長距離専用別ナンバーカードを配布する。
- ・2次コール(最終コール)は現地にて行うものとする。
- ・招集時間は下記の通りである。

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始60分前	競技開始50分前
投擲種目	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始90分前	競技開始80分前

※上記の時刻はタイムテーブルを基準とする。

- ・リレーの招集は、競技者4人とも受けること。(ただし、他の競技に出場している選手に関しては、重複届けを提出している場合のみ代理を認める。)
- ・リレーのオーダー用紙は、一次招集完了60分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー提出後の選手変更は原則認めない。
- ・同一時間に2種目以上出場する競技者および競技中のため他のエントリー種目の一次招集を受けられない競技者は、一次招集完了時刻までに重複出場届を競技者係提出すること。
- ・重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が一次招集を受けなければならない。その際『重複出場届』を持参すること。
- ・リレーのオーダー用紙・重複出場届は受付あるいは競技者係にて受け取ること。

4. 欠場について

- ・事前に欠場することが決まった者は、大会前日の17時00分までに関西学連事務所(06-6442-8771)に事前欠場用紙に記入しFAXを送信すること。
- ・当日の欠場は原則として認めない。やむを得ず欠場をする場合は、当日欠場者届けを受付あるいは競技者係にて配布するので、その用紙に必要事項を記入し大会本部の総務に提出して承認を得ること。その後、総務より欠場者届の下半分を受け取り、一次招集完了時間までに、競技者係に提出すること。
- ・招集(一次招集・二次招集)に遅れた者は欠場とみなし、出場を認めない。

5. 競技者の服装について

- ・ナンバーカードは2019年度学連登録のナンバーカードを必ず胸、背部にしっかりつけること。ただし、跳躍種目については胸部または背部だけでよい。
- ・トラック種目については腰ナンバーカードは、右腰にはっきりと番号がみえるようにつけること(3000SC・5000m・10000mは両腰につけること)。
- ・リレー競技に限らず同一大学は同一のユニフォームを着用すること。セパレートユニフォームを

使用する場合も、色・デザインは統一させておくこと。

- ・競技場は全天候舗装であるので、使用するスパイクのピンの長さは、トラック・フィールド共に9mm以下とする。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。

6. 競技について

- ・競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器をトラック及びフィールド内に持ち込めない。
- ・競技中の選手に対する助言は2019年日本陸上競技連盟規則に従う。また、フィールド競技に関しては現場の審判員がトラック競技の進行に注意しながら許可を与えた上でコーチ席に助言を聞きに行くことができる。ただしコーチ席以外での助言行為は禁ずることとする。審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。

7. 競技用器具について

- ・使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用する。
- ・やりは、検定を受け承認されたもののみ使用できる。やりの受付は、競技開始90分前にゴール前用器具庫内で行い、60分前に締め切る。
- ・棒高跳用ポールは私物使用を認める。また、学連から許可を得た上での前日輸送、または当日の持込みのみを認める。
- ・棒高跳用ポールは各大学で責任を持って管理と輸送すること。ポールの輸送管理に関して弊連盟は一切責任を負わない。
- ・競技場の器具を破損した場合は、当該者の所属団体より必要代金を徴収する。

8. トラック競技について

- ・トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とする。但し、装置の故障等のトラブルが生じた場合、手動計時(1/10秒)とする。

9. 不正スタートについて

- ・不正スタートを行った競技者はすべて失格とする。
- ・不正スタート発見装置は使用せず、目視で判定する。
- ・不正スタートの判定に対する参考材料として、ビデオ撮影を行うことがある。

10. フィールド競技について

- ・走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のように行う。

	種目	試技開始	
男子	走高跳	1m65	5cm刻み 1m85以降3cm
	棒高跳 (オープン)	4m20	20cm刻み 4m80以降10cm刻み
女子	走高跳	1m40	1m65cmまで5cm刻み 1m69cm、1m72cm以降3cm刻み
	棒高跳 (オープン)	2m80	20cm 3m40以降10cm刻み

- ・三段跳の踏み切りの位置については、男子は11mか13m、女子は9mか10mかを一次招集で選ぶ。
- ・投擲種目の公式練習は、2投までとする。ハンマーは1投までとする。

11. 得点について

- ・全種目(オープン種目、男子の砲丸投・やり投、女子の400mH・砲丸投・円盤投・ハンマー投、を除く)について、下記の通り得点を加算する。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
対校得点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

12. 抗議の申し立てについて(規則第146条)

- ・競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議の申し立ては、結果が正式に発表（アナウンス）されてから決勝の場合は30分以内、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、本人もしくは監督から口頭で審判長に申し出なくてはならない。

13. 開閉会式・表彰について

- ・開閉会式は、全選手フィールド内に部旗を先頭に10分前に集合、整列すること。また、その際芝生に入らないようにすること。
- ・各種目3位までに入賞した競技者は表彰を行う。競技結果発表後、表彰場所まで来ること。
- ・表彰の服装は上：所属大学のチームユニフォーム、下：チームジャージと指定する。

14. 競技場使用の注意

- ・開門は中央ゲート・北ゲート・南東門において午前8時30分に行う。閉門は閉会式終了の30分後とする。
- ・横断幕・のぼりはスタンドのみ認める。通用路を塞ぐことの無いよう注意すること。また、テープ類は使用せず、競技終了後すみやかに外すこと。
- ・ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。
- ・競技場に入場する際は全天候走路の保護のため、トレーニングシューズまたはスニーカーを履いて入場すること。それ以外を使用している者について、発見次第、競技場入場を禁止する。

15. その他

- ・本大会参加校は定められた人数の学生審判及び学生補助員を派遣しなければならない。学生審判員はブレザーまたは学生服を着用すること。学生補助員はクラブ指定のジャージの着用を認める。派遣しなかった場合、または、その業務を果たさなかった場合はその大学の以後の出場を中止させる。
- ・フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰ること。
- ・記録は北ゲート・中央ゲート間記録掲示板に掲示する。
- ・競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- ・競技中の負傷については、応急処置は主催者が行うが、その後の治療費は本人負担とする。ただし、2019年(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ・注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その当該者の所属する大学の以後の競技を中止させ、処罰を与える。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- ・車ででの来場はできるだけ控え、公共交通機関を利用し来場すること。
- ・芝生内は競技時以外立入禁止とする。
- ・トラック及びフィールド内、また招集場所での携帯電話・音楽再生機器・無線機などの電子機器の持ち込み・使用を禁止する。
- ・体育館への立ち入りは、原則禁止とする。